

UK

UK REPORT

## @New Products

**エクシードCL/ヨシダ**  
 <歯科用ユニット>


ヨシダから発売中の診療用チェアユニット「エクシードシリーズ」に新たに「エクシードCL(シエル)」が5月21日よりラインナップされます。患者さんをやさしく迎える心地よさ、直感的に使える心地よさ、きれいが続く心地よさをコンセプトに開発されたチェアユニットです。

## 【特徴】

- チェアタイプは、前折れステップ・前折れ・カンターの3種から選択が可能です。前折れ・カンタータイプは最低位400mmで高齢者や子供でも乗り降りしやすい設計です。また、うがいしやすい回転式スピットンを標準装備しています。
- テーブルパネルは、情報を素早く表示する有機EL表示を採用し、各種インストゥルメントの設定確認が容易です。広いワーキングテーブルと新設計のインストゥルメントハンガーは術者の操作性を向上します。
- 清掃性の高い材質と人間工学を考慮した設計で、汚れにくく拭きやすい形状です。また、お手入れがしやすいように各パーツの取り外しが可能です。

標準価格=標準仕様 3,870,000円～

**ルミプロ**  
**/ピーエスエーサクライ**  
 <LEDヘッドライト>


ピーエスエーサクライから発売された「ルミプロ」(パリオプティック社製)は、驚きの102Lm(ルーメン)で、色温度は太陽光に近い最も理想的な5,500ケルビンを実現したLEDヘッドライトです。光学設計されたスポット光は口腔内の隅々まで明るく鮮明に照らし、また患者様に不快なまぶしさを与えません。

## 【特徴】

- 本体重量わずか8gの超軽量小型設計により、長時間使用時でも首の負担を低減し、快適な治療をサポートします。
- スポットサイズの90mmにより広範囲をサポートします。
- 訪問診療・検診時はもちろん、診療室内においても口腔内の隅々まで太陽光と同じ色温度で明るく鮮明に照らします。
- 最新のリチウムバッテリーを搭載。明るさ4段階調整の最大4(102Lm)で連続14時間のスタミナパワーを実現。また、わずか3時間30分の高速充電でフル充電が完了します。

標準価格=本体一式 144,000円

**SRサクラール**  
**/イボクラールピバデント**  
 <硬質レジン歯>


イボクラールピバデントから発売された「SRサクラール」は、高い品質基準でナチュラルな形態・表面性状を再現した硬質レジン歯です。健康保険制度の基準をクリアする硬度、そしてイボクラールピバデント社の人工歯開発の歴史による審美性を兼ね備えた、日本人のために開発された人工歯です。

## 【特徴】

- 前歯と臼歯ともに、4層レイヤリングで構築され、6前歯の形態はそれぞれが異なるレイヤリング構造で構成。それぞれ異なる表面性状を組み合わせることで、ナチュラルな審美性が得られます。
- 機能性を考慮し、唇側・切縁部、頬側・咬合面にはIOP材料を採用し、また、デンチン、歯頸部および舌側部は実績のある自由診療向け人工歯と同様の構造形式であるDCLアクリル(二重架橋結合)を採用。
- A2、A3、A3.5の3シェードをラインナップし、形態は上顎前歯6形態、下顎前歯3形態、上下顎臼歯各3形態をラインナップ。

## 標準価格=

- 前歯6歯×10プレート 7,800円
- 臼歯8歯×10プレート 10,100円

## @My Recommendation

**『サクラ ブラックポリッシャー**  
**・ブラックポリッシャーハード』**  
 <吉野石膏販売>


標準価格=100本入8,000円、10本入1,300円

**作業効率を高めるポリッシャーはこれです!**

今回ご紹介させて頂く商品は、吉野石膏販売から発売されております『サクラブラックポリッシャー・ブラックポリッシャーハード』です。硬質金属材料のポリッシャーで、特徴は、なんといっても優れた研磨性です。用途は中間研磨ですが、他社と比較して艶が出やすくなっておりますので、ブラシやバフでの最終仕上げ研磨の時間を短縮できます。これにより、これまで時間が掛かっていた硬質金属の研磨の工程を、あっという間に終わらせることができます。ブラックポリッシャーはニッケルクローム合金、ブラックポリッシャーハードはコバルトクローム合金の研磨に向いており、形状は3種類からお選び頂けます。

実際にご使用頂いております技士様からは、「これまで色々試してみたけど、これが一番効率よく作業できるよ!!」とお声を頂いております。

サンプルのご用意もできますので、一度お試しになりたいお客様は弊社営業担当者までお問い合わせください。

宮崎店 営業一課 濱田 亮

## 歯科医院経営を考える(523)

デンタル・マネジメント・コンサルティング  
稲岡 勲

## ～ コロナ感染対策の徹底を ～

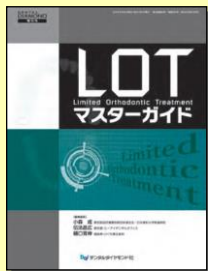
最近になって日本でも新型コロナウイルスの変異株が猛威を振り出している。欧州主要国では新規感染者に占める変異株の割合が8割を超えたとされている。日本全体では36%だそうだが、大阪では67%、兵庫県では77%に達したようだ。封じ込めの鍵を握るのはワクチン接種だそうだが、そのワクチンの接種が日本ではようやく医療従事者から高齢者を対象に始まったばかりだ。日本はワクチンの確保が何故このように遅くなったのか、その原因は検証されるべきだと思う。そもそも日本では最初のPCR検査が極めて少ない。当初陽性サンプルの10%しか検査しない方針だったが、変異株の蔓延を受けて40%に検査数を拡大したのだそう。そもそもPCR検査が少なすぎるという問題がある。もっと多くの場所で唾液検査や鼻腔検査を実施して、感染の有無を調べるべきではなかったか。PCR検査を抑制してきた日本では、第三波で感染者が急増した1月でさえ、人口10万人当たり検査数は1,489件で、アメリカの15,067件、イギリスの26,191件、韓国の2,824件よりも少ない検査数である。特に今年はオリンピック開催を控えて、早期に徹底した予防対策と感染対策を実施するべきではなかったか。公衆衛生上のロックダウンを実施して、営業上の損害賠償を徹底すれば完全封鎖も可能である。アメリカの国立アレルギー感染症研究所のアンソニー・ファウチ所長が「米医師会誌」にコロナが蔓延した国では、ウイルスは変異し続け、遅かれ早かれ誰もが変異株に感染する」と明言している（雑誌「選択」）というから恐ろしいことだ。しかも日本が導入して使いだしているファイザー社のワクチンは変異株が蔓延する前に治験が終わっており、変異株に対する臨床的有用性が確認されていないという。アメリカのロックフェラー大学はファイザー社のワクチンは変異したブラジル株に対して効果が減弱すると報告しているというから心もとない話だ。また北海道大学と東京大学の研究チームが、下水から変異株を検出することに成功したそうだが、それが市中感染の頻度を反映するというから、そうした指標を基に徹底した感染対策を立てるべきではないか。

(つづく)

※玉手ニュース 2021年 5月号より転載。

## New Books &amp; Video

## ★今週の新刊

デンタルダイヤモンド増刊号  
『 LOT マスターガイド 』

一般開業医においても、歯周治療や補綴修復などの成果を上げ、長期に安定させるためには LOT (限局矯正治療) の知識・技術は欠かせません。本増刊号は、LOT を実践するにあたり初学者が学ぶべき基本が網羅されており、可能なかぎり深く理解するためのガイドとしてまとめられた書。「きちんと理解して取り組みたい」「学び直したい」という臨床家のニーズに応える一冊。

- 編集委員=小森 成/伝法 昌広  
樋口 育伸
- 出版=デンタルダイヤモンド社
- 価格=5,400円+税

『 「人生100年時代」の  
インプラント治療の考えかた 』

長期症例も交えながら、在宅・施設への訪問診療、メンテナンスから考える上部構造、IOD・IARPD の具体例、ミニインプラントなどの活用例、手術にともなう全身・外科関連の注意など、さまざまな切り口から「人生100年時代」のインプラント治療に不可欠な知見が丸ごと詰まった一冊。

- 編著=窪木 拓男/鈴木 秀典
- 著 =菊谷 武/片山 昇/山口 千緒里  
中居 伸行/岸本 裕充/高岡 一樹  
吉川 恭平/玉岡 丈二
- 出版=永末書店
- 価格=7,800円+税